

1 題材名 分かりやすく伝えよう～ぼくのニセモノをつくるには～

2 題材について

本学級には、6名の児童が在籍している。友達と協力して課題に取り組めること、また、適切な言葉遣いで友達と関わることをねらいとして、本学級では自立活動を行っている。

本題材は、児童が自分のことを紹介するページを作り、そのページを紹介する活動を通して、自分の考えや思いを適切に伝えたり、相手が伝えたいことを理解しようとして話を聞いたりすることをねらいとしている。特別支援学級という個に応じた学びの場において、成功体験を実感しながら友達とやりとりすることができるようにしたり、適切な表現の仕方や相手の意図を正しく汲み取るスキルを習得したりすることは、他者を尊重すると共に、将来に渡り他者と共生する上で大切である。

指導にあたっては、絵本「ぼくのニセモノをつくるには」の内容を毎時の始めに確認すると共に、書かれていることを整理していくことで、自分のことを表現する言葉を考えようとする意欲を高めていく。また、実際に自分のことを紹介するページを作り、発表する活動を設定し、友達へ伝えたり相手の話を聞いたりする場面を設けていく。特に本時では、適切な言葉遣いで書いたり話したりすることをねらいとして指導していく。毎時の終盤では、各時の活動を振り返る時間を確保し、適切な言葉を用いたり、相手の考えを正しく理解しようとしていたりすることは、相手を思いやり、互いを尊重することにつながることを意識付けさせたい。

3 児童の実態と個別目標

氏名	性別	題材における実態	題材における目標
A	男	・自分のことを伝えることは大好きである。しかし、自分の考えや思いを表現する語彙が少なく、うまく伝えられずやきもきすることがある。	・自分の考えを正しく伝えるために考え、発表することができる。 【6-(2)】
B	男	・友達と関わることをとても好む。しかし、自分の思いや考えを表す語彙に偏りがあり、言葉を想起することを諦めてしまうことが多い。	・語彙を広げ、スムーズに言葉を引き出したり、理解したりすることができる。 【6-(2)】
C	男	・自分が思いついたことを話すことが多い。一方で、他者が話す内容を正しく理解できず、イライラしてしまうことがある。	・他者の考えや意見を理解し、場に応じた話し方をすることができる。 【3-(2)】

4 指導計画と評価(5時間扱い)

時	学習内容・活動	評価の観点		
		A	B	C
1	・題材の活動について知る。 ・自分を紹介するページを作成する。	・自分のことを伝えようとする意識を高めることができる。	・自分を表現する語彙を見つけようとする意識を高めることができる。	・友達の紹介を理解しようとする意識を高めることができる。
2 ③ 4	・自分のことを紹介するページを作成し、増やしていく。	・自分の考えを正しく伝えるために考え、発表することができる。	・語彙を広げ、スムーズに言葉を引き出したり、理解したりすることができる。	・他者の考えや意見を理解し、場に応じた話し方をすることができる。
5	・互いが作成したページを読み合う。 ・題材の活動を振り返る。	・自分の作品を適切な言葉遣いで発表することができる。	・自分の作品を適切な言葉遣いで発表することができる。	・相手の話の内容を理解し、感想を話すことができる、

5 本時の指導

(1)目標

ア 全体目標

○ 自分のことを紹介するページ作りを通して、適切な言葉遣いで書いたり話したりできる。

イ 個別目標

A:自分の考えを正しく伝えるために考え、発表することができる。 【6-(2)】

B:語彙を広げ、スムーズに言葉を引き出したり、理解したりすることができる。 【6-(2)】

C:他者の考えや意見を理解し、場に応じた話し方をすることができる。 【3-(2)】

(2)準備・資料

- ・学習予定表
- ・プロジェクター
- ・スクリーン
- ・書画カメラ
- ・ローマ字表
- ・絵本
- ・パソコン
- ・児童用タブレット
- ・振り返りカード

(3)展開

学習内容・活動	児童への支援と評価 (◎評価)		
	A	B	C
1 始めのあいさつをし、本時の流れを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習予定表を掲示し、児童と一緒に確認することで、本時の見通しをもてるようにする。</li> </ul>		
2 ウォーミングアップをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイコロトークを行うことで、伝える学習への意欲を高める。</li> </ul>		
3 本時の学習課題をつかむ。 「できること・できないこと」のページを伝わりやすく作ろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して取り組めるように、進め方をよく説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことを適切に伝えるために、話し方の型を提示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の話を意識して聞くことができるように、話の内容をクイズで出題する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までに作ったページに書いた内容を振り返る。</li> <li>・本時は、「自分ができること・できないこと」のページを作ることが目標であると確認する。</li> <li>・スクリーンを用いて、これまで作ったページの見出しや児童が書いた内容を振り返ることができるようにする。</li> </ul>		
4 学習課題を解決する。 (1)主人公と自分とを比較し、カードを整理する。 (2)自分ができること・できないことを書き加える。 (3)本時作ったページを発表したり、アドバイスをしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもって活動に取り組めるようにするために、指示を問い返す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことを表現する意欲が高まるように、見通しをもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場に応じた表現を使うようとする意欲を高めるために、個人目標を選ばせる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SKY MENU発表ノートを用いて、絵本の主人公ができること・できないことを分類したり、自分と置き換えて書き換えたりする。</li> <li>・相手を思いやる言葉遣いに気をつけて、本時に作ったページの発表をする。</li> </ul>		
5 学習のまとめをする。 (1)本時の振り返りをする。 (2)終わりのあいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリック入力を活用し、入力を促す。タイピング入力も挑戦できるよう、ローマ字表を提示する。</li> <li>・表現が思いつかないときには、Web検索をするように声をかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上位概念ごとに自分のできること・できないこと表す分かりやすい表現を提示する。</li> <li>・タイピング入力を補助するために、ローマ字表を提示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりづらい表現が見られたときには、適宜声をかけ、どのような表現に直せばいいかを一緒に考える。</li> <li>・入力が難しい時には、手書きでもよいことを伝える。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時を振り返り、自分の考えや思いを正しく使えたり、意識して話を聞いたりできた場面を称賛し、一般化できるように意欲を高めていく。</li> <li>・次回の活動を伝えることで、さらに意欲がもてるようにする。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の言動を振り返ることができるように、自分が伝えたいことを適切に表現できたのか確認する。</li> <li>◎自分の考えを正しく伝えるために考え、発表することができる。 (観察)【6-(2)】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時に使った表現を具体的に振り返ることができるように、自分の発言を問い返す。</li> <li>◎語彙を広げ、スムーズに言葉を引き出したり、理解したりすることができる。 (観察)【6-(2)】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞く意欲が高まるように、友達の発表に対して感想を伝えた場面をフィードバックする。</li> <li>◎他者の考えや意見を理解し、場に応じた話し方をすることができる。 (観察)【3-(2)】</li> </ul>